

実践コースでの1年

- 1.実践コースとは？
- 2.実践コースの特徴！
- 3.研究の進め方！
- 4.振り返り
- 5.まとめ

島崎 稔史(株式会社インテック)
柏原 一雄(株式会社デンソークリエイト)

1. 実践コース とは？

右のことを目指したい人
の研鑽の場！

目指そう！

多様な品質技術を
状況に応じて活用し
多面的に課題を解決
できるエンジニア

具体的には、

- 研究会の成果を自組織の問題解決に適用したい。
- 研究会でやりきれなかったことを突き詰めた。
- 複数の研究会が扱う多様な技術を組合せて、問題解決策を検討したい。

2.実践コースの特徴！

2 / 5

	研究コース	実践コース
定 員	多数	3名程度
論文執筆	グループで執筆	個人で執筆
論文テーマ	研究コースの テーマ	自由 (ソフトウェア)
研究活動 の発表	SQIP研究会 2月の成果発表会 (研究報告)	シンポジウム等へ の論文応募 (研究論文)
視 点	↑	複眼
参加条件	なし	あり

3.研究の進め方！

3 / 5

①課題形成・課題解決を自主的に実施。



②SQiP研究会での議論

- ・進捗状況報告（個人ごと）
- ・指導陣とメンバー全員での議論
- ・必要に応じて他のコースの指導陣からのアドバイスを受ける



③論文の各種団体への応募

論文を執筆しながら、課題形成・解決をする

4.振り返りーKPT分析 4 / 5

KEEP (良かったこと)

- 過去の研究会活動の資産の活用
- 課題設定のための視座とスパンを少し意識できるようになったこと
- 行き詰まりそうな時に自身の考えを文字に書き起こしたこと

PROBLEM (困ったこと)

■活動開始前

- 事前に提出課題を明確にすることができていなかったこと
- 個人活動の意味や難しさを十分理解していなかったこと

■活動開始後

- 計画の精度が低かったこと
- 不具合事例やアンケートの収集が難しかったこと
- 自分でやるしかないこと

TRY (どのように改善したらいいか)

- 計画は具体的な行動がイメージできるようになるまで詳細化する
- 問題の表面だけを捉えないように「なぜ」を追求する
- 行き詰まりそうになったら、早めに周囲に相談する

5.まとめ

5 / 5

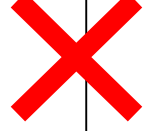
■感想

- ・ 実践コースは既に始まっている
- ・ 実践コースには終わりが無い

■決意表明

- ・ 「なぜ？」にこだわる
- ・ 物事を
シンプルに考え、
シンプルに整理し、
シンプルに伝える

補助:研究計画(島崎)

 : 予定  : 実績	2017年						2018年			
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
課題設定 (期日: 9/14→12/15)	 									
社内情報収集 (期日: 8/31→1/6)	 									
先行研究調査 (期日: 9/30→1/6、2/7)	 									
解決策の検討 (期日: 11/30→2/7)				 						
解決策の検証 (期日: 12/31)										
論文作成 (期日: 1/XX→1/22、2/14)							 			

解決策の検証ができなかった